

平成30年度後期学校評価集計結果

質問1		重要度				実現度			
		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	学校の勉強はわかりやすいですか。	92.9%	5.6%	1.1%	0.4%	63.2%	30.7%	6.1%	0.0%
保護者	大枝小学校は楽しく学べる工夫やわかりやすい授業づくりに取り組んでいますか。	84.6%	15.4%	0.0%	0.0%	23.5%	70.9%	4.8%	0.7%
教職員	あなたはわかりやすい授業づくりに取り組むことができていますか。	93.8%	6.3%	0.0%	0.0%	11.8%	70.6%	17.6%	0.0%

児童・保護者アンケートの実現度では「そう思う」「大体そう思う」の割合が90%を超える好結果だった。今年度も、確かな学力委員会が中心となり、どの教科学習においても児童が「めあて」を意識して学習に向かい、授業の終わりにはめあてについてしっかり学習ができたか振り返るようにしてきた。また見開きのノートを意識したノートづくりにも力を入れてきた。しかしながら、ジョイントプログラム・ブレジョイントプログラム、学力定着テストの結果はなかなかこちらが思うような数値が上がってこない現状がある。われわれ教職員は教科指導が児童の理解としっかりと結びついているかを常に点検する必要がある。また、学校での授業はわかったつもりでも、家庭学習をする時やテストの時にはその理解が十分定着していない児童がいることも念頭に入手立てを打つ必要がありそうだ。また、何より学校・保護者が連携し合い、家庭学習を質を高めていくことが肝要だ。

質問2		重要度				実現度			
		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	授業中、自分の考えを友だちに伝えることは楽しいですか。	78.0%	16.6%	4.0%	1.4%	54.4%	29.5%	11.7%	4.3%
保護者	あなたのお子さんは学習に意欲的に取り組んでいますか。	82.0%	17.0%	1.1%	0.0%	17.0%	57.6%	22.9%	2.4%
教職員	あなたは児童が学習内容を把握し、自分の考えを進んで表現できるに指導していますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	66.7%	11.1%	0.0%

前期同様、児童・保護者とも実現度の「あまりそう思わない」「そう思わない」が約15%、約25%となった。児童についてはほぼ5人に1人、保護者の方々では4人に1人が十分ではないという回答になった。今年度、すべての教科の基礎となる「言葉の力の育成」に重点を置いて取り組んできた。「自分のおみや考えを自分の言葉で伝え表現すること」「コミュニケーションをとる楽しみを体得すること」は自己肯定感・自己有用感など児童個々の自尊感情を高める根幹の部分であり、本校がめざす資質・能力である。受容型から発信型の授業への転換、知的好奇心を高める授業、子どもの思考や意識に基づいた単元計画の作成など私たちの日々の授業改善をさらに進めていく必要を感じる。

質問3		重要度				実現度			
		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	学校のきまりや学びのガイドラインを守っていますか。	89.6%	7.6%	2.5%	0.4%	47.3%	45.9%	6.0%	0.7%
保護者	大枝中学ブロックで共通する学びのガイドラインをご存知ですか。	36.4%	49.8%	11.9%	1.9%	11.5%	35.8%	31.6%	21.2%
教職員	あなたは学校のきまりやまなびのガイドラインを意識して教育活動に取り組んでいますか。	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%

小中連携は小学校から中学校への進学において、新しい環境での学習や生活へ移行する段階で、不登校等の生徒指導上の諸問題につながっていく事態等(いわゆる中1ギャップ)の解消に向け、全国で取組が進められた経緯がある。大枝中ブロックでは9年間の教育目標を「自らすすんで学び、自分も友達も大切に子ども」とし、9年間一貫した学習態度・学習規律で児童・生徒が学校生活が送れるように、特に6年生が中学生活になめらかに移行できるようにと「学びのガイドライン」を設定している。今回の児童アンケートでは約95%の児童がガイドラインを守っているとの回答だった。この傾向は年々上がっている。しかし保護者アンケートの結果を見ると約半数の保護者に「学びのガイドライン」の内容が十分に伝わっていなかったことが前期同様、課題として残った。今年度も大枝中ブロックでは児童生徒間交流(小中授業交流会・入学体験・チャレンジ体験・3校合同ポスターセッション)など積極的に小中連携に取り組んできた。これからも懇談会や学年だより、学校ホームページや学校だよりなどで周知を図っていく。

質問4		重要度				実現度			
		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	家で宿題や勉強をしていますか。	88.6%	8.9%	2.1%	0.4%	71.8%	22.5%	4.6%	1.1%
保護者	あなたのお子さんは家で宿題や勉強をしていますか。	79.8%	19.2%	1.0%	0.0%	39.1%	49.3%	9.9%	1.8%
教職員	あなたは児童に家ででの宿題や勉強ができるように適切な課題を与え、評価していますか。	88.2%	11.8%	0.0%	0.0%	31.3%	62.5%	6.3%	0.0%

児童アンケート、保護者アンケートの結果を見ると本校児童はしっかりと家で宿題や勉強している。つまり家庭学習がほぼ定着していると考えられる。学校では宿題の取組方等、家庭学習について学力向上委員会を開き、学力向上のためにどのように家庭学習に取り組ませるべきかを話し合い、共通理解を図ってきた。その成果が表れたのだと考えられる。改めて宿題の意義を考えてみると宿題は、①授業で定着しない部分を補う。②家庭での学習習慣をつける。③作文や日記などで考える力・表現する力をつけるなど有効なものである。これからも児童の学びの自立に向けて家庭と連携を深めながら取り組んでいきたい。

質問5		重要度				実現度			
		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	大枝小学校はあなたにとって楽しいところですか。	87.1%	8.6%	2.9%	1.4%	71.1%	21.4%	5.4%	2.1%
保護者	大枝小学校はお子さんにとって楽しい生活の場になっていますか。	90.0%	9.2%	0.8%	0.0%	49.5%	43.9%	6.3%	0.3%
教職員	大枝小学校は子どもたちにとって楽しい場になっていますか。	94.7%	5.3%	0.0%	0.0%	26.3%	73.7%	0.0%	0.0%

児童・保護者アンケートの重要度、実現度とも「そう思う」「大体そう思う」が90%以上と児童にとって大枝小学校が楽しい場になっているという結果が見られた。多くの児童が楽しく充実した学校生活を過ごしていることがわかった。先日、児童に「学校は楽しい？」「どうしてそう思うの？」と直接聞いてみた。「友達と話したり一緒に何かしたりすることが楽しい。」「みんなと勉強できるのが楽しい。」など笑顔で答えが返ってきた。ただ、12月のいじめアンケートの結果を見ても、悩みをもっていると答えた子どもたちも一定数おり、何か悩みがあって楽しくないと思っている児童がいることも忘れてはならない。子どもたちが悩みや困りを抱え込まないように今後もしっかりと児童をも守っていく必要がある。

質問6		重要度				実現度			
		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	友だちといっぱい遊び、なかよく助け合っていますか。	92.5%	5.0%	2.1%	0.4%	75.3%	19.7%	4.7%	0.4%
保護者	あなたのお子さんは友達といっぱい遊び、仲良く助け合っていますか。	88.3%	10.6%	0.8%	0.4%	45.3%	47.4%	7.3%	0.0%
教職員	あなたは子どもたちと遊んだり、子どもたちの話に耳を傾けていますか。	94.7%	5.3%	0.0%	0.0%	36.8%	47.4%	15.8%	0.0%

近年、子どもの遊ぶ場所や遊ぶ仲間、遊ぶ時間は年々減少している。さらに、交通事故や犯罪を心配する親が増加し、外で元気に遊び回る子どもの姿が自然が豊かと言える本校でも見かけることも少なくなってきたように思う。しかし、子どもにとって「遊び」は重要なことである。例えば、体を動かして遊ぶことで体力・運動能力が向上する。また、たくさんの友だちと遊ぶことでコミュニケーション能力や協調性を養うことも可能だ。児童は「遊び」を通して、お互いの気持ちを理解し、心を通わせ豊かな人間関係を築こうとする。また、「遊び」は自分の行動をコントロールし、自分で意志決定を行い、問題を解決し、ルールを守る方法を体得する絶好の機会を与えてくれるものだ。われわれ大人の「遊び」に対する考え方も改めていかなければならない余地がある。

質問7		重要度				実現度			
		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	元気にあいさつをしていますか。	88.3%	8.9%	1.8%	1.1%	54.5%	29.7%	12.9%	2.9%
保護者	大枝小学校の子どもたちは元気にあいさつをしていますか。	79.4%	20.2%	0.4%	0.0%	13.3%	51.7%	28.7%	6.3%
教職員	あなたは子どもたちに元気よくあいさつをしていますか。	94.7%	5.3%	0.0%	0.0%	63.2%	26.3%	10.5%	0.0%

この項目では児童アンケートでは約15％、保護者アンケートでは約35％があまりできていないと回答している。学校では児童会が主催する「あいさつ運動」をはじめ、学校長、管理用務員、生徒指導主任が手分けをして毎朝校門の前での声かけ、学級指導などを行っている。また低学年では「大きな声であいさつ」し中学年では「相手の目を見てあいさつ」し、高学年では「語尾までしっかりあいさつ」をするというあいさつの仕方を指導してきた。しかし、こちらから挨拶をすると挨拶は返ってくるが、下を向いていたり、相手の目や顔を見ていなかったりすることが未だ多いのが前期と変わらない現状である。コミュニケーションの根幹である「あいさつをする。」がこの状況であることに大枝の子どもたちに関わる大人がしっかりと向き合っていかなければならない。

質問8		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	片付けややそうじをしっかりとしていますか。	74.3%	22.1%	2.2%	1.4%	48.8%	33.8%	11.7%	5.7%
保護者	あなたのお子さんは整理整頓や掃除に一生懸命に取り組んでいますか。	73.5%	24.6%	1.5%	0.4%	10.4%	38.9%	37.8%	12.8%
教職員	あなたはかたづけやそうじをしっかりとしていますか。	63.2%	31.6%	5.3%	0.0%	33.3%	38.9%	22.2%	5.6%

重要度、実現度とも前期アンケートとほぼ変わらない傾向を示した。児童の80%強が「そうじをしっかりとできている。」と回答している。今年度、大枝小学校では毎日10分間（木曜は簡単掃除）の掃除時間を設定した。「10分間の短時間の中でみんなで力を合わせてそうじをやり遂げること」はを目標とし取り組んできた。しかし、1年間児童の掃除の様子を見ていると掃除時間におしゃべりしている子、遊んでいる子の姿も多少なりとも見られた。そうじは時間内にやり遂げる力をつけ、その中から段取りをする力や主体性、協調性を身に付けていく大切な教育活動である。「友達と力をあわせてがんばれた。」「掃除時間中に全部終わらせ気持ちよかった。」という声が校内に広がるようにしていかなければならない。

質問9		重要度				実現度			
		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	健康や安全に気をつけて生活していますか。	92.8%	5.8%	0.4%	1.1%	63.9%	27.5%	6.1%	2.5%
保護者	あなたのお子さんは健康や安全に気をつけていますか。	86.3%	13.3%	0.0%	0.4%	22.1%	64.2%	12.6%	1.1%
教職員	あなたは健康や安全にかかわる指導を適切にしていますか。	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%	33.3%	61.1%	5.6%	0.0%

児童・保護者・教職員アンケートとも「そう思う」「大体そう思う」が高い割合を示した。健康や安全を意識して生活している様子がうかがえた。健康面では毎月1日には保健の日、ノーテレビノーゲームデーの取り組みも浸透してきた。また、「早寝・早起き・朝ごはん・朝うんち」等、望ましい生活習慣を自ら実践する姿も定着してきた。3年生の非行防止教室。飲酒、喫煙、薬物の有害性・危険性について正しい知識と将来にわたる判断力を身に付けるための6年生実施の薬物乱用教室等、保健・道徳・特別活動での関連した指導を行ってきた。安全面では緊急時集団下校訓練ら子ども引渡訓練などを地域と連携しながら実施してきた。来年度も安全に関わる資質・能力（自助を前提とした共助・公助に関する能力。安全な生活を送るための基礎的・基本的な知識・技能-安全確保のための的確な思考・判断）をしっかりと子どもたちにつけていきたい。

質問10		重要度				実現度			
		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	ふだん外で体を動かしていますか。	84.7%	12.1%	0.4%	2.8%	64.4%	23.8%	7.8%	3.9%
保護者	あなたのお子さんは外で体を動かして遊んでいますか。	75.6%	23.2%	0.0%	1.1%	33.2%	41.0%	20.8%	4.9%
教職員	児童は体を動かして遊んでいますか。	94.7%	5.3%	0.0%	0.0%	26.3%	68.4%	5.3%	0.0%

数値は前期と同じような傾向を示した。本校では毎週火曜日のロング昼休みの取組や子どもたちの外遊び推進のための外遊びの日などを設定するなど取組を進めてきた。今年度の子どもたちの様子を見ていると、グラウンドで遊ぶ子どもたちの姿が増えているようだ。真夏の暑い日に汗をいっぱいかきながらドッジボールに夢中になっている子、真冬に一生懸命、縄跳びをしている子。どの子も輝いて見た。教室でのけがの数も昨年度に比べて減ったようだ。大枝小学校の多くの子どもたちは外遊びが好きである。今後も遊ぶ中で、体を動かすことの楽しさを感じ、運動好きな児童がますます増えるように取組をすすめていきたい。

質問11		重要度				実現度			
児童	地域の仕事や活動（お祭り・レクリエーション・スポーツ・奉仕活動）などに参加していますか。	69.3%	19.7%	7.7%	3.3%	45.8%	19.9%	18.8%	15.5%
保護者	あなた自身は、地域の行事や活動（お祭り・レクリエーション・スポーツ・奉仕活動）などに参加していますか。	38.4%	45.1%	13.7%	2.7%	16.0%	39.7%	33.8%	10.5%
教職員	あなたは大枝の「自然・産業・歴史・お祭り・スポーツ・奉仕活動」などに興味がありますか。	52.6%	47.4%	0.0%	0.0%	10.5%	47.4%	42.1%	0.0%

この項目については児童の重要度・実現度「あまりそうおもわない・そう思わない」の割合が上昇した。児童の中で地域の仕事や活動への関心が薄れつつあることが懸念される、また実現度の数値からも実際参加していない児童が相当数いることにも着目しなければならない。前期の分析にも揭示したが、今年度の全国学力定着調査の児童質問紙調査の中にある「地域の奉仕活動に参加したいかどうか」を問われる質問では、参加したいと答えている児童がほとんどだった。しかし、実施はなかなかできていないという回答が多かった。このことから地域・学校がこのような場を設定する必要がさらに迫られていると言える。

質問12		重要度				実現度			
		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	あなたは自分の携帯電話(スマートフォン)を持っていますか。	36.4%	16.4%	13.5%	33.8%	44.8%	2.5%	3.6%	49.1%
保護者	あなたのお子さんに携帯電話(スマートフォン)を持たせていますか。	14.4%	20.5%	32.7%	32.3%	18.8%	13.8%	9.9%	57.4%
教職員	あなたは学級の児童で携帯電話(スマートフォン)を持っている児童を把握していますか。	72.2%	27.8%	0.0%	0.0%	26.3%	47.4%	15.8%	10.5%

このアンケートは、前期アンケートと重要度・実現度とも同じような傾向を示した。近年、大枝小学校では「持たせる、使わせる」家庭が増加の傾向にあるようだ。このことを受け止め、学校としてPTAとして、親として、地域としてどうしていくかを問われている。スマートフォンを用いた悪質ないじめ、触法行為は近年、学校現場に関わらず社会から後を絶たない。そのことから命を落としてしまう児童や生徒がいることも新聞報道などで周知の事実である。だれもが被害者だけでなく加害者になることを未成年の子を持つ親として肝に銘じたい。また、スマートフォンを持たせるリスクを十分考えたうえ「持たせる。」ことが必要である。持たせたならば持たせた責任が発生することを当然のことながら頭に入れておくことが肝要だ。学校としては「ネット上のいじめ」やインターネット上の違法・有害情報から守るために「ケータイ・スマホ教室」を継続し、危険性や依存性について指導していくことが重要であると考えている。